

目標②-2 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめて文章を整えることができる。

太郎君の通う中学校では、合唱コンクールが開かれます。そこで同じ市に住んでいる太郎君のおばあさんに聞きに来てもらいたいと思います、案内の文章を書くことにしました。

太郎君になったつもりで、【条件】にしたがって案内の文章を書きなさい。

【条件】

条件 1 次の内容を文章に入れること。

- ・ 十月九日十時から始まること
- ・ 第一中学校の体育館で行われること
- ・ 太郎のクラスは「大切なもの」を歌うこと
- ・ 来週、電話をし、おばあさんに返事を聞くこと

条件 2 百五十字以上、二百字以内（句読点を含む）で書くこと。

答え

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

200

150

《解答例》

おばあさん、お元気ですか。僕はとても元気です。
 さて、今度の十月九日の十時に、第一中学校の体育館で合唱コンクールが行われます。よ
 かったら、来てくれませんか。僕たちのクラスは「大切なもの」を歌います。一生懸命練習
 したのでぜひ聞いてほしいです。プログラムも同封しますので、見てください。
 来週、電話をするので、お返事を聞きたいです。よろしくおねがいます。

《評価のポイント》

- 読み手の立場を考え、内容を入れた文章で書いている。また、百五十文字以上、二百字以内で書いている。
- × 読み手の立場を考えた文章になっていない。または、内容を入れた文章で書いていない。または、百五十文字以上、二百字以内で書いていない。